

リバーフロビューアー

～河川の“見える化”による、住民との合意形成を踏まえた河川行政のために～

リバーフロビューアーとは

コンピューターのCG機能を活用して、コンピューター画像の中で現況をスタートにして、どなたでも(担当者等)が直接に自由に掘削、盛土を試みることができ、試行錯誤しながら、「多自然川づくり」など自然豊かな水辺や景観を計画・設計することができるソフトです。

また、計画・設計した河道や水辺に樹木、植生、動物、石、護岸などを設定することができ、水位も自由に設定できるため、整備完成後のイメージが掴み易く、維持管理の検討等にも役立することができます。

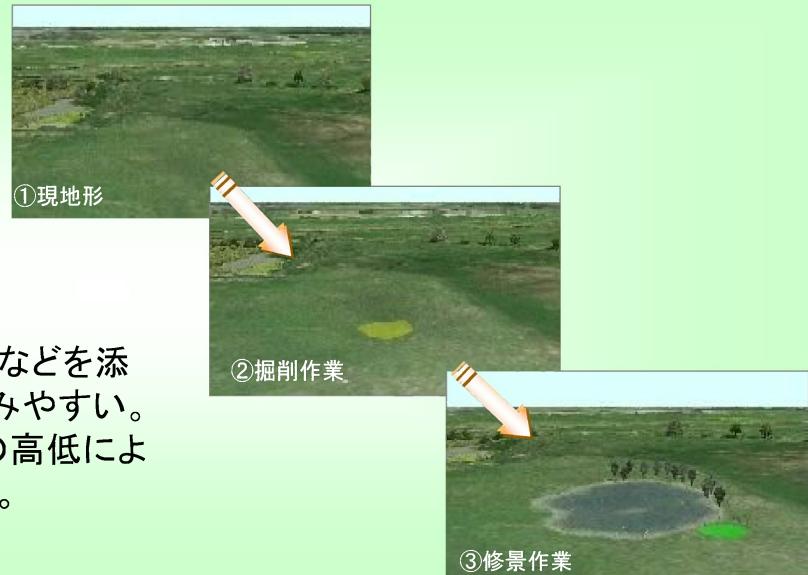
3次元表示の導入による高度な空間デザインを支援（例：整備イメージ）



リバーフロビューアーの主な特徴

■ 河道形状等の計画(掘削・盛土)

現地地形をベースに、画像で自由に掘削・盛土ができる視覚的に確認しながら河道形状を変化(操作)することができる。また、変化させた土地の概ねの土量を把握が可能。



■ 修景の計画

画像上に、樹木・植生・動物及び人物などを添景することができ、修景イメージが掴みやすい。また、水位を変えることもでき、水面の高低による景観イメージを確認することができる。

■ 鳥瞰位置の変更



(財)リバーフロント整備センター

Foundation for Riverfront Improvement and Restoration

リバーフロービューアーの活用場面例

河川管理者等が、河道計画・多自然川づくり、まちづくりなどの検討での活用や、住民説明会等において、住民の方々と、一緒になって、画像を確認しながら、川づくりを行うこと、住民の方々と同じイメージを共有することができる。

■地元住民との説明会

【その場でイメージを修正可能】

■計画・設計時のイメージ共有

【特に、ワンド・浚渫工事等の土量検討に有効】

■河川管理、河川工事、維持管理への利用【樹木管理、河道掘削等】

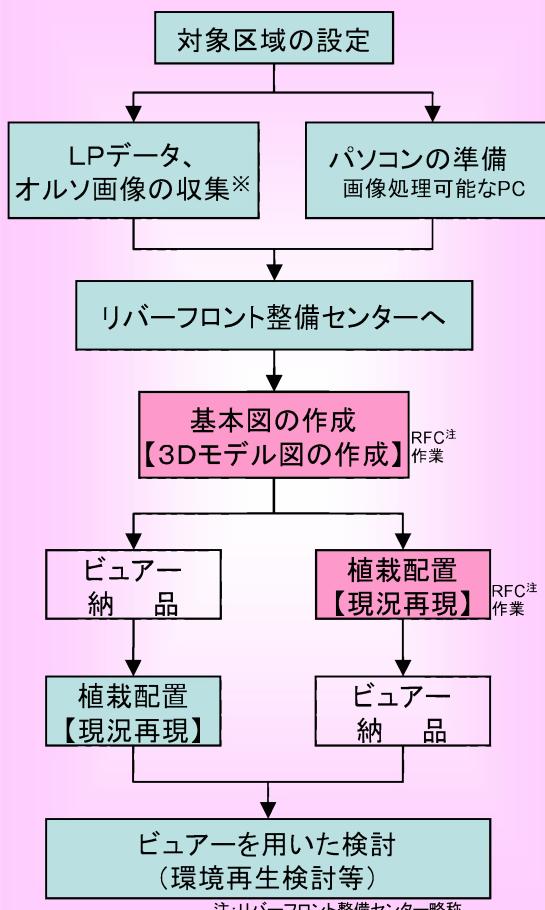
【川から堤内地を見る、橋から川を見る、堤防から見る、空から見る等】

■景観イメージ共有



「トキと共生を目指した水辺づくり
座談会にて」(2010.7.3)

リバーフロービューアー を用いた業務の流れ

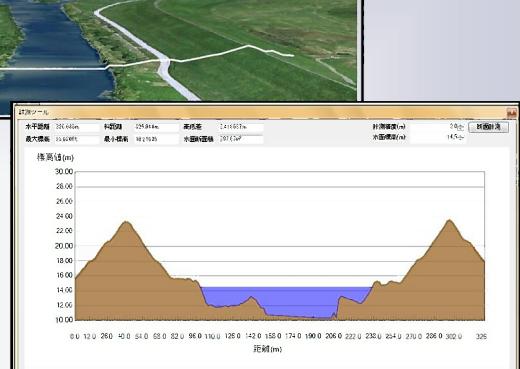


その他機能（断面・容積計測）

■河道断面の計測

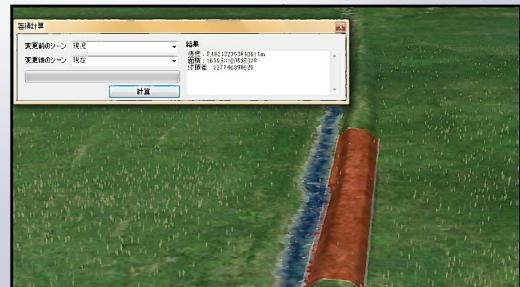


- ・水面断面積計測
- ・水位の任意変更
- ・DXF形式保存



■盛土量の計測

- ・地形編集前後の容積差計測
- ・平面（投影）面積計測



リバーフロービューアー活用事例

- 新潟県佐渡島(天王川) 湿地再生検討計画
- 利根川中流部 河川環境再生の検討
- 東日本大震災 被災地復興計画検討

【お問い合わせ先】(財)リバーフロント整備センター

主席研究員: 渡邊 茂 研究員: 阿部 充、和泉谷 直毅 茂木 千佳子

電話: 03-6228-3863 FAX: 03-3523-0640